

# 新生活運動強調事項

～良い事はみんなで  
協力実行いたしましょう～



- ◆ 年頭の廻礼は元日かぎりとし、年始よびは自粛しましょう。(できたら年頭の廻礼はやめ、合同年始会を開きましょう。)
- ◆ 年始など形式的な贈答はやめましょう。
- ◆ 元日から祝日には必ず国旗をたてましょう。
- ◆ かけごとはやめ、健全な遊びで、お正月を楽しくすごしましょう。
- ◆ 火の元や盗難に十分注意しましょう。
- ◆ 節約して貯蓄をいたしましょう。
- ◆ 出かせぎの人に正月のようすなど、便りを出しましょう。

## 1. 昭和49年度決算見込の状況 (性質別)

歳入		金額	構成比
区分		千円	%
1. 分担金及び負担金		621,004	94.9
2. 使用料及び手数料		2,914	0.4
3. 国庫支出金		2,140	0.3
4. 財産収入		4,215	0.6
5. 寄附金		0	0
6. 繰越収入金		11,654	1.8
7. 諸収入		3,983	0.6
8. 地債		7,700	1.2
9. 県支		1,000	0.2
計		654,610	100.0

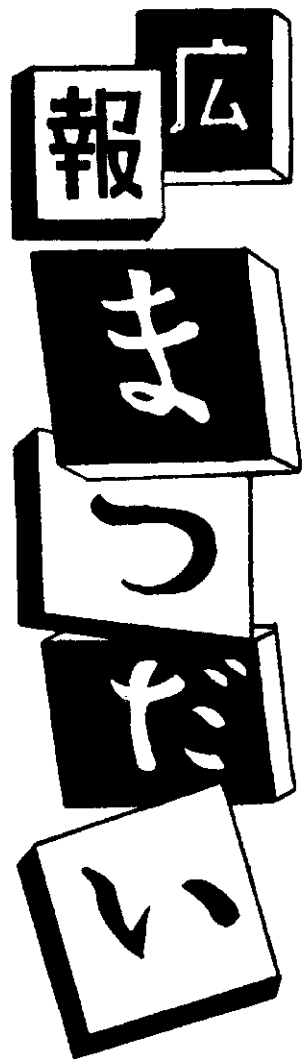
歳出		金額	構成比
区分		千円	%
1. 人件費		498,946	77.6
2. 物件費		46,521	7.3
3. 維持補修費		1,505	0.2
4. 補助費等		7,793	1.2
5. 普通建設事業費		18,208	2.8
6. 公債		6,877	1.1
7. 積立		63,180	9.8
計		643,030	100.0

歳入合計 654,610千円  
 歳出合計 643,030千円  
 歳入歳出差引額 11,580千円

広域消防組合として昭和27年5月発足いたしました組合の財政状況は、管内のみならずまから良く理解していただくため、その財政状況を年二回公表することになっております。  
 今回は、昭和49年度決算見込と昭和50年度の一般会計の、九月末現在の状況をお知らせいたします。  
 また、この組合の経費として松代町では、昭和49年度に二千三四九万五千円、昭和50年度分として現在三千八三万六千円の支出をしております。

## 上越地域消防事務組合の財政状況

おしらせします



## 2. 昭和50年度予算執行状況 (50・4・1～50・9・30)

歳入			歳出		
区分	予算額	収入済額	区分	予算額	支出済額
	千円	千円		千円	千円
1. 分担金及び負担金	731,541	357,947	1. 議会費	233	30
2. 使用料及び手数料	2,000	1,292	2. 総務費	669,144	264,599
3. 国庫支出金	13,080	0	1. 総務管理費	664,992	261,781
4. 財産収入	7,756	273	(1) 一般管理費	644,371	261,781
5. 寄附金	1	0	(2) 退職手当基金費	18,299	0
6. 繰越金	3,000	11,580	(3) 財政調整基金費	2,322	0
7. 諸収入	1,950	2,023	2. 特定地域防災対策費	4,152	2,818
8. 組合債	18,000	0	3. 公債	10,260	4,206
計	777,328	373,115	4. 予備費	97,691	
			計	777,328	268,835

## 3. 財産の状況

(1) 建物

(2) 有価証券

(3) 電話

- 二頁表のとおり。
- 電信電話債券(割引債) 額面金額 二、二四〇千円
- 車輻
- 消防ポンプ自動車 一七台
- 水槽付消防ポンプ自動車 一
- 化学消防ポンプ自動車 二
- 屈折はしご付消防ポンプ自動車 一

(1) (次頁へ続く)

昭和51年12月10日発行  
 第193号  
 東頸城郡松代町公民館  
 館長 関谷昭平  
 電話 松代 301番  
 印刷 松代印刷所

- 防災工作車 二台
- 救急自動車（日赤分七台を  
除く） 六〇
- 指令車 一〇
- 基金 三九
- 職員退職基金 九〇、九八八千円
- 財政調整基金 四七、七五四千円
- 地方債の現在高  
（五〇、九、三〇現在）
- 4. 消防施設整備事業債  
六六、七三六千円
- (1) 郵政省借入額 二五、七〇〇
- (2) 市町村職員共済組合連合会借入額 三三、三三六
- (3) 新潟県自治振興資金借入額 七、七〇〇
- 5. 一時借入金の現在高  
（五〇、九、三〇現在）  
なし

## 12月11日から新春1月10日まで

### 冬期の交通事故防止運動はじまる

また冬將軍がやってきました。県内いっせいに次の目的で事故防止運動が実施されます。

この運動は、冬期における凍結による道路条件の変化及び年末年始において、飲酒の機会が多いことなどに起因する交通事故の多発傾向に対処して、県民総ぐるみ運動を展開、交通事故の根絶を図ることを目的に実施されます。

### 安全運転励行

!!スリップ事故の防止!!

- △ 車輻に必ず滑り止め性能がある雪道用タイヤを取りつけましょう。
- △ チェーン着装
- △ 適切な車間距離を保持し、安全速度を励行しましょう。

!!通学路での事故防止!!

- △ 子どもの安全を確保するため、スピードをゆるめ安全運転をいたしましょう。

### 3. 財産の状況 (50.9.30.現在) (1) 建物

庁舎名	構造	面積 (m <sup>2</sup> )			建築費 千円
		1階	2階	計	
頸北消防署	鉄骨ALC板造二階建	197.59	2192.5	4168.4	17,100
頸南 "	"	"	"	"	"
東頸 "	"	"	"	"	"
名立分遣所	鉄骨コンクリートブロック造平家建	189.00	—	189.00	7,980
松代 "	鉄骨コンクリートブロック造二階建	135.00	562.5	191.25	7,673
消防本部	鉄骨造二階建 (1階吹抜)トタン葺	—	51.98	51.98	4,500
防災資機材格納庫	鉄骨造平家建	262.4	—	262.4	1,450
計		943.01	765.98	1708.99	72,903

### 交通のきまりを守りましょう

#### 年末年始における飲酒運転の防止

酒と車の運転を結びつけないように、師走の声を聞くと、街のざわめきになんとなく心が浮かれ、はやばやと忘年会の計画をたてたり、親しい友と「チョットいっぱい」

と、のれんをくぐって酒をくみかわしながら語り合う、という機会が多くなります。

このように、酒は私たちの生活にうるおいと活力を与えてくれますが、車の運転をする人にとって「百薬の長」などと言ってはいられません。

それは、酒が入ると大脳皮質の抑制作用がマヒし、物事を判断したり考えたりすることが鈍るため、

- ◎ 気が大きくなる
- ◎ 動作がにぶくなる
- ◎ 目で見る範囲がせまくなる
- ◎ 周囲への注意力がなくなる
- ◎ めんどくさくなる
- ◎ という現象が起こり、正しい情報の処理ができなくなるからです。

運転者も、そして家庭のお母さん方も、みんなで次のことに注意し合い、飲酒運転による悲惨な交通事故を防止しましょう。

#### 〔飲酒運転は絶対にやめよう〕

- ◎ 飲酒運転はいけないことであるということは一般の常識となっているのですが、なかなかあとを絶ちません。
- ◎ 飲酒運転をして取締りを受けたり、交通事故を起こした人の弁解をもう一度聞いて見ましょう。
- ◎ オレは酒に強い体質だ。
- ◎ 飲んだ量が少ないから。
- ◎ 飲んでから時間がたっているから酔ってはいない。
- ◎ つかまっていたのは運が悪かったのだ。
- ◎ 車を置いて行くと明日にさしかかえる。
- ◎ みんな自分につごうのよい理屈づけをしています、その背景には次のような意識があるようです。
- ◎ 今まで酒を飲んで運転しても事故を起こしたことがない。
- ◎ 脇道や裏通りを通るから警察につかまらない。
- ◎ 自分だけはいまよくやるから大丈夫だ。

体質や飲酒の量、時間の経過や過去の運転経験などは、その日の

(次頁へ続く)

# 年末年始に発生しやすい犯罪の防止

防犯は、家ごと・人ごと・地域ごとに

体の調子や、道路・交通の状況などによって変化することが多く、安全の保障にはならないものです。車を運転する人は、社会や自分に対する甘えをすて、飲酒運転はぜったいにしないということを固く心に誓って下さい。

## 〔飲酒運転につながる悪い習慣をなくそう〕

うれしいにつけ、悲しいにつけ、酒をくみかわすということは私たちの生活に深くとけこんでいます。客を気持ちよく迎え、そしてもてなすことがつきあいを深めることになるとはいうものの、車が広く使われるようになった現代では好意の表わし方も相手の立場に立って考えてやらなければなりません。

車を運転してきている人にも、久しぶりに来たのだから祝い酒だからつきあいではないか、少しくらいならなどと酒を進めることは、もてなしにならないだけでなく、かえって相手に迷惑をかけることになるのです。

「酒と車の運転を結びつけてはならないのだ」という意識をみんなが持ち、正しい習慣づけが行われるように努力しましょう。

〔飲酒運転をしようとする人には勇気をもつて注意しよう〕

飲酒運転は、一度行われると

◎ 少しくらいの酒なら大丈夫だと取締りにあわないところを通ればよい。

◎ 取締りにあわないところを通らばよい。

などと勝手な理屈をつけて段々と回数が増して行くものであり、大きな事故へと進む危険性もあります。

飲酒運転をしようとする人を見かけたときは、

## ☆車の運転は やめなさい☆

と、勇気をもって忠告しましょう。気まづくなるからと注意をためらうところに運転者の甘えが生まれ、飲酒運転がくりかえされることとなるのです。

運転者の自覚をうながすためにも、家庭・職場などを含めた地域・社会の全員が協力して「飲酒運転はぜったいにさせない」という強い決意をもって、悪い芽は早めにつみとって下さい。



いよいよ今年も残すところわずかとなりました。

年末年始になると、家を留守にしたり、多額の現金を取扱う機会が多くなり、あわただしい日々が続きます。

また、飲酒の機会も多くなることなどから、ドロボーや暴力の被害を受けるスキができやすくなりますから、次の点にご注意のうえみんなが協力し合って明るい年の瀬を送り、新しい年を迎えましょう。

### ◇現金の保管は確実に

。必要以外の現金は、家に置いたり持ち歩いたりしない。

。やむを得ない場合には鍵のかかる金庫に入れるとか、ドロボーに気づかれないような所にしまおうとか、分散して身につけるなど、その保管方法

を工夫する。

。印鑑と預金通帳等は別々に保管する。

◇暴力は見ても聞いても警察へ

年末年始には、どうしても外で酒を飲む機会が多くなりますが、これが影響して、つまらないことからケンピラや暴力団などいんねんをつけられて被害を受けることが多くなります。言いがかりをつけられないように、自分から注意するとともに、できるだけ相

## 商工会珠算検定

一級は合格者なく

二級に四名合格いたしました

第41回商工会珠算検定は、11月16日松代中学校において行なわれました。この検定の受検者数は、二八〇名で合格者は九一名、三二・五％の合格率でした。

一級合格者はありませんでした。二級に合格した人は四名で、各級別合格者は次のとおりでした。

- 二級合格 四名
- 柳 一也(松代塾)
- 品田由美子( )
- 小堺 直美(蓬平分校)
- 小堺 敦子(松代高校)
- 三級以下合格人数
- 三級 10名 四級 6名 五級 13名 六級 13名 七級 16名 八級 29名

また、松代町でこの検定が行なわれるようになったのは、昭和37年第二回検定以来で、延合格者と受検延人数は次のとおりになりました。

- 一級合格者 八人
- 二級 " 九三人
- 三級 " 六五〇人
- 四級 八級合格者 四、五九四人
- 延受検者数 一四、六二五人

手にならないようにしましょう。

◇少年を非行から守るために

お正月は、学校も休みになり、お年玉や、こたつを囲んでの家族ぐるみのゲームなど、少年期の楽しい思い出が残るときです。しかし、思いがけない事故にあつたり、ふとしたでき事で非行に走ることがあつては暗い思い出になつてしまいます。放任や甘やかし過ぎは、少年を不幸に追い込みます。

保護者のもとより、社会全体で温かく見守り、少年に楽しい年末、年始を過ごさせるために次の事に心がけましょう。

### 家庭での指導

じつと見つめる温かい目、心のこもった導き、それが保護者の務めです。

### 一般の協力

少年は社会全体の宝です。親の目が届かない面は社会全体が協力して善導することが大切です。

# カゼ・かぜ・風邪

カゼの季節です  
みんなで注意しましょう

カゼは鼻カゼからインフルエンザに至るまで、殆どすべてウイルスという細菌によっておこる伝染病です。

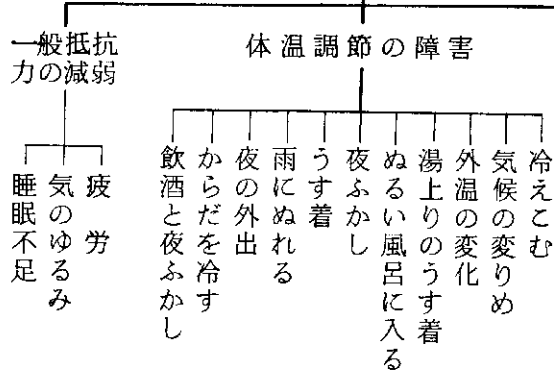
寒さがカゼの原因ではなく、のどや全身の抵抗力が落ちたときにカゼを引き易いということです。つまり寒さが原因ではなく、ひとつの誘因でしかないということです。

その誘因となるのは次のように色々あります。

## 寒さがまねくカゼ

腔戟の刺激  
汽車旅行  
ごみを吸う  
煙草の吸いすぎ

## カゼの誘因



以上の誘因を出来るだけさげると共に、毎日乾布まさつ、冷水のうがい、などの粘膜を強くするなど日頃から、体を丈夫にして抵抗力をつけておくことが大切です。

## 予防の原則

1. 抵抗力を充分高めて、ウイルスの攻撃に打ち勝つためにエネルギーの蓄積が必要です。ふだん良く運動して筋肉が太く、その中に蛋白質が十分ある

人は、カゼに強く快復も早いといわれています。

カゼは寒い季節に多く、エネルギーの発散が多くなります。夏よりカロリーを余分にとり下さい。しかも含水炭素より蛋白質で、豆、豆腐、肉、卵、魚乳製品又、ビタミンCは寒さのストレスに対して有効だといわれています。ミカン、カキ、野菜、いも類など。

2. 長期は勿論、一時的の過労もさける。

睡眠は体力の回復に一番有効です。睡眠を一日の生活の中心にしましょう。

3. 汗のしまつが大切です。一日のうちでも手まめに抜き着して、着るものを加減しましょう。

暖房のきいた部屋から外へ出るときは、玄関で寒さに慣れてから、また、途中までマスクをかけるなど。

4. 外出から帰ったとき、ウガイをする。

ウイルスを洗い去る。粘膜のたんれん

5. マスクを適当に使う。二十五枚位いガーゼを重ねる。炎症をおこしている粘膜を外の刺戟から保護する。病原体はガーゼの目を通すが、それがのっている水滴はマスクでくいとめる。(患者自身がかけることが必要)

6. カゼの流行時に人ごみの中へ外出するとき、極端に寒いときの外出には粘膜を保護する。インフルエンザに対しては予防注射をうけておく。

## カゼ治療のコツ

- カゼと思ったら悪あがきせず、観念して寝ること。
- どんなカゼでも、薬をのんでものまなくても一週間はかかる。
- カゼに薬がいらぬというので

はなく、薬を飲んで体を苦しみから少しでも軽くして過した方がよい。

- 無理をすれば必ず再燃する。
- 眠れるだけ寝ていること。
- 水のう、水枕、湯タンポは気持ちのよいようにする。
- 寒い思いをしないこと。
- 頭寒足熱は看護の原則です。
- 食欲があれば何でも食べること。なければ水をのむこと、出来れば水より果汁、果汁より牛乳がよい。
- ひげ、髪の手入れは、全快してからにする。
- 体に医学のヨロイを着ること。(インフルエンザの予防注射)

## 皮膚を丈夫にする

乳幼児、老人は抵抗力が弱いので重症になったり他の病気になることがあります。

まわりの人みんなが気をつけてあげましょう。

殊に過保護はひよわな子に育ててしまい勝ちです。

早いうちから空気浴、日光浴、乾布まさつで皮膚をたんれんしましょう。

年寄はカゼを引いても余り熱の出ないことがあります。注意してあげましょう。

## 水道建設事業

### 七〇%給水完了

昭和四十八年から工事を始めた水道は、着工と同時にインフレによる物価高、オイルショックによる資材不足、政府の総需要抑制政策による資金難、不況の中の物価高と矢継ぎ早やに大きな鞭に打ちのめされて、一時はどうなることか目処もたない、視界ゼロの時期が続き、苦悩の連続でしたが、本年春頃から濃かった霧も除々にうすらぎ始め、どうやら先が見えて来ました。

八月十一日に通水式を行い室野に給水開始、九月二十五日に松代に給水、十月七日に千年に給水、十一月十一日に福島、奈良立、池尻に給水、これで申込み世帯の約(五頁下段に続く)

# 出稼先訪問バス運行

昨年引続き本年も県の計画により「出稼先訪問バス」が運行されます。

これは、正月の帰省バスとは逆に、こちらから妻など家族の方が出稼先へ行って、仕事場を見学したり、夫など出稼者と二人で、ひと晩一緒に泊って、ゆっくり団らんのお機会をもち、出稼者のご苦労をねぎらい、はげましていただくことが目的です。

多数ご利用下さるようお知らせいたします。

## 一、運行計画

1. コース  
浦川原発 — 柏崎 — 長岡 — 東京 — 藤沢着
2. 発車日時場所  
二月二十七日午後五時浦川原村役場前発車
3. 到着日時場所  
二月二十八日午前九時神奈川県内(後日詳細決定)

なお、東京都内及び千葉県、埼玉県への希望者は途中下車できます。

4. 募集人員 二〇名(希望者多数の場合、人員増あり)
5. 帰る日時及び集合場所  
二月二十九日午後十時上野駅前発  
上野駅前午後九時集合

## 二、経費

1. バス料金  
東京都内 往復六千二百円  
神奈川県 往復六千七百円
2. 宿舎  
希望者には県で斡旋します。  
宿泊料一人三千円前後の予定

## 三、申込方法

一月三十一日までに申込書(電話でもよい)により役場職業係又は、上越南職安・安塚出張所に申込んで下さい。

# ナース・バンク開設

## 一、在宅看護婦の再就職あっせん

深刻な看護婦不足の解消作戦の一つとして、ナースバンク(看護婦銀行)が設置されました。結婚・育児などで離職した退任看護婦の再就職を、あっせんするのがこの銀行の役割です。

ナースバンクの仕組みは、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦の資格がありながら、さまざまな理由で退職した有資格者のうち、就職を希望する者の就業希望条件を保健所と公共職業安定所に備えてある台帳に登録します。

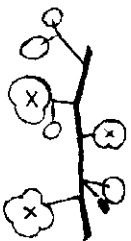
一方、看護婦を求める医療機関も希望条件を台帳に登録します。できあがった登録台帳をもとに公共職業安定所が具体的な個々のあっせんをするというものです。この登録は、年一回の求人求職調査の他、いつでも保健所及び公

共職業安定所が電話でも受け付けています。

その他、県衛生部では再就職を少しでも容易にするため、すんだ医学、看護の知識、技術を身につけてもらうための再教育及び病院実習を行っています。又、看護ニュースを発行しています。

再就職を希望する方は、いつでも気軽に次へ電話などで連絡して下さい。

大島保健所(電話大島二十番)  
公共職業安定所安塚出張所  
(電話安塚二一〇三九番)



(四頁下段より続く)  
七〇%に給水したことになります。このあとは、来春には儀明、蒲生に給水予定、秋には残り全部の小荒戸、太平、菅刈、田沢、犬伏に給水を完了する予定です。

三年計画で始めた事業でしたが一時は、二年位遅れて五年もかかるのではないかと気をもみましたが、約半年の遅れで来年秋には工事を完了したい予定であります。

## 戸籍の窓口から

十一月受付分(受付順)

ごけつこん  
おめでとー



石口吉松・相沢京子 松代藤見屋  
柳 勇・柳 邦枝 松代諏美田屋  
広瀬寛二・高野由美子 松代鉄道公団  
高橋 誠・高野吉子 千年 札木  
山岸丈夫・神田加代子 片桐山新屋敷  
中村 孝・仲村メイ 儀明与左エ門  
佐藤一二・樋口富子 松代 卯八  
薩美良一・本田秀子 千年消防分遣所  
佐藤信一・五十嵐茂子 竹所前田

おたんじょう  
おめでとー



高橋哲也 父勝 一男 千年源兵衛  
母淑子  
高橋圭介 父多一郎 三男 平源甚  
母富子  
山岸 守 父正晴 二男 蒲生あらしき  
母セツ子  
おくやみ (死亡)  
齊木政市郎 六七才 中子 下  
小堺キテ 八三才 蒲生彦右エ門  
市川丁一郎 六八才 池之畑十場  
市川テフ 七三才 小屋丸板屋

## 人口のうごき

(50年12月1日現在)

世帯数	2,077 (-4)	出生	3	死亡	4
人口	4,078 (-12)	転入	22	転出	42
男	4,139 (-9)	増計	25	減計	46
女	8,217 (-21)				

### 第3回 少年少女卓球大会

新年を迎えての正月休みを健康に楽しく過ごすことを目的に行ないます。

①大会日は一月六日午前九時開始とし、町総合センターで行います。

②試合は、小学校・中学校別に分け、分団対抗とします。

③チームの編成は男子三名補員一名・女子二名補員一名の計七名とし、五名対戦とします。

④（チームの編成は学校の先生の指導を受けて編成してください。）

⑤試合方法は申込チーム数により公民館が決定します。

⑥用具はラケット及びシューズ靴を持参してください。

⑦申込期限は12月25日までに所定の様式で公民館へ。

杯にならべて取り合うものとなります。

③参加資格は自由とし、親子同伴を歓迎します。

④組編成・試合方法は参集人数により当日決定します。

⑤申込みは必要なく、当日午前九時までに会場に集合してください。

## 新年レクリエーション大会 申込は公民館へ

**!! 第二回囲碁大会 !!**

新年を祝い、同好者の親睦をはかり楽しく一日を過ごすことを目的とし、参加第一、勝敗は二とします。

①大会日は一月十八日、日曜日午前九時から午後五時までとし、町総合センターで行います。当日八時三十分集合ください。

②対局のきまりは  
△対局は組分けしてリーグ戦を原則にいたしますが、参加者数により協議して変更することがあります。

△勝負は一局とします。  
△段・級位の明らかでない人については開始前に全員で協議して決定します。  
△時間があれば各組代表で決勝対局を行ないます。  
△同段（級）者の対局は互先とし、こみは四目半とします。

### 雪上車が運行します

病人の方はご利用ください。

歩行困難

いよいよ冬将軍が来ました。町では少しでもみなさんのご苦勞をやわらげようと、毎年試験的に雪上車を運行してきました。今年は更に増車して別記配車で運行を計画しています。

1. 清水線 清水より松代間 桐山より松代間
  2. 蒲生線 蒲生より松代間 田野倉より寺田間
  3. 福島線 室野より福島を経て 浦田・大宮間は不定期運行 室野より蒲生間
  4. 下山線 下山より松代間 海老より松代間
  5. 小貫線 小貫より松代間 小貫より蒲生間
- ◎雪上車運行については冬期の道つけ（圧雪）が目的であります。が病人・歩行困難な方は乗車できません。ただし、乗車定員は運転員とも10名ですので定員を超えないようにご協力を願います。
- ◎緊急・急患の場合は夜間でも出動いたしますのでみなさんご利用ください。

### 第1回 カルタとり大会

目的は卓球と同じです。

①大会日は一月七日午前九時三〇分からとし松代小学校体育館で行ないます。

②カルタは百人一首を自作した大きなものを使用し、体育館一

△勝負は一局とします。  
△段・級位の明らかでない人については開始前に全員で協議して決定します。  
△時間があれば各組代表で決勝対局を行ないます。  
△同段（級）者の対局は互先とし、こみは四目半とします。

### あなたもご出品を

#### 松代町書初展覧会

- 会場 松代町総合センター 三階 大ホール
- 期日と町内巡回日程 12月13日に決定いたしますので支障のないよう全家庭にご連絡いたします。
- 一般作品の受付 1月13日までに町総合センターにお届けください。作品の裏に鉛筆で本氏名を書いてください。

恒例の書初展覧会を開催いたします。

しめます。部門は小・中学校の部と一般の部です。一般の部は規定はなく自由です。競書ではありませんし、新年を迎えての書きはじめという意義がありますから、ふるってご出品をお願いします。作品は終了後お返しいたします。

なお、作品は最善をつくして管理いたしますが、万一、破損よごれ等ができましたときは補償できかねますのでお含みください。

皆様のご出品をお待ちしています。

△一級差の対局は下級者を先手とします。

△二級差以上は一目宛（二級差は二目）とします。

◎参加資格は松代町住民に限ります。12月27日正午まで、1月6日～9日に町総合センターに、住所・氏名・段・級を申込みください。電話は三〇一番です。

広報『まつだい』を  
出稼先へ

この広報を読み終わったら、ふるさとのニュースを待ちわびる、出稼先の夫や父や子へ送って上げて下さい。